

2022年度 募集説明会 【全体説明】



科学技術振興機構

RISTEX



社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society

1. 社会技術研究開発センターについて (2022年度)



発足年度▶

略式名称▶

ロゴマーク▶

総括▶

正式名称▶

(令和3年度)	(令和元年度)	(令和2年度)	(平成28年度)	(平成27年度)	(平成23年度)
社会的孤立枠	シナリオ・ソリューション	RinCA	HITE	公私空間	政策
浦 光博	関 正雄	唐沢 かおり	國領 二郎	山田 肇	山縣 然太郎
社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築 シナリオ創出フェーズ ソリューション創出フェーズ SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム		科学技術のELSIへの包括的実践 研究開発プログラム	人と情報のエコシステム 研究開発領域	安全な暮らしをつくる 新しい公/私空間の構築 研究開発領域	科学技術イノベーション 政策のための科学 研究開発プログラム

2. プログラム推進体制について

マネジメントチーム

総括補佐
※必要に応じて



総括の役割の
一部を代行

総括

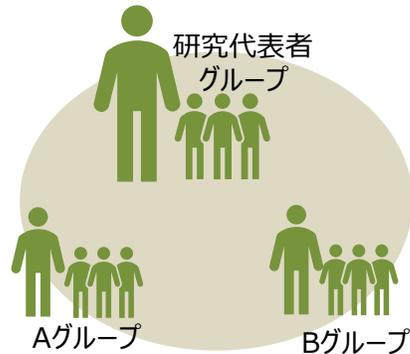


専門的事項について
総括へ助言を行い
PG運営に協力

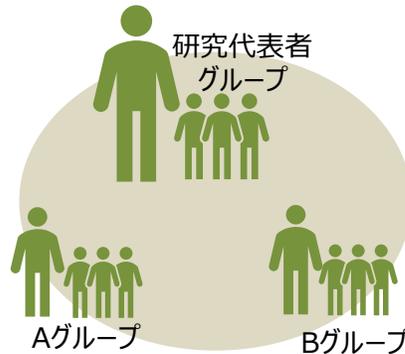
アドバイザー



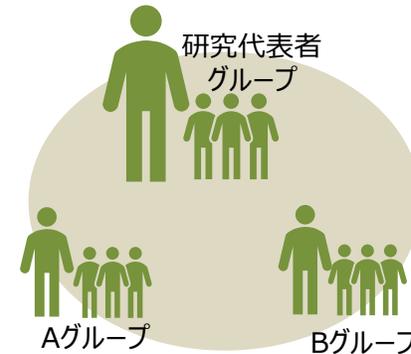
研究開発プロジェクト



研究開発プロジェクト



研究開発プロジェクト



【研究開発プロジェクトの体制】

大学等、企業等、各種団体、NPO、行政など、研究者のみならず問題解決に取り組む関係者の協働チーム

プログラムの目標達成に向けて、総括のマネジメントのもと研究開発を推進

- 領域・プログラム目標に照らして、研究開発プロジェクトの募集・選考、評価、マネジメントを実施。
 - 領域・プログラム会議、サイトビジット（現地視察）、全体会議（研究開発実施者を含む合宿）など
- 各年度および必要に応じて適宜、総括の判断により研究開発プロジェクトの計画変更や統廃合等も行う。
- 領域・プログラムとして必要な活動（アウトリーチ活動やネットワークの構築など）も積極的に実施。

3. 委託研究について

	委託事業	補助事業
概要	本来、国等（JST）が行うべき事業について、 国等が自ら実施するよりも、大学・企業等他の主体が実施した方がより大きな効果が得られると思われる場合に、 契約により他の主体に実施を委ねる	本来、大学・企業等が実施している事業について、 一定の公共性が認められる場合に、 申請に基づき国等がその経費の一部を負担するもの。 補助金の交付を受けた側が主体的に事業を実施
配分方法	委託契約	交付決定
配分先	機関	個人・グループ・機関等（制度により様々）
競争的資金例	科学技術振興調整費 戦略的創造研究推進事業 等	科学研究費補助金 研究拠点形成費等補助金 厚生労働科学研究費補助金 等
備考	委託研究契約および事務処理説明書に基づき、受託業務を適正に実施する義務があり、委託者はその実施状況を確認します。	

※ 公募要領（第5章 5.4委託研究契約）

※ https://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/afieldfile/2015/08/20/1242642_006.pdf

4. 2022年度公募プログラム（概要）

【詳細は公募要領をご確認下さい】

プログラム名称		キーワード	支援概要（直接経費）		総括
 政策		エビデンスに基づく 政策形成 （EBPM）	【通常枠】 【共進化枠】	1,000万円程度/年 × 3年程度 1,000万円程度/年 × 3年程度	山縣 然太郎 山梨大学大学院 総合研究部 医学域社会医学講座 教授
 RInCA		新興科学技術の ELSI 対応	【企画調査】 【研究開発】	300万円程度 × 半年程度【 600～1,200万円程度/年 ×（1～3年）	唐沢 かおり 東京大学 大学院 人文社会系研究科 教授
SOLVE for SDGs	 シナリオ・ソリューション	技術シーズ活用による 地域課題解決	【シナリオ】 【ソリューション】	400～600万円程度/年 × 2年程度 1,900万円程度/年 × 3年程度	関 正雄 放送大学 客員教授/ 損害保険ジャパン(株) サステナビリティ推進部 シニアアドバイザー
	 社会的孤立枠	社会的孤立・孤独 の 予防	【スタート】 【本格研究開発※】	1,200万円/年 × 1.5年程度 1,900万円程度/年 × 3年程 ※ステージゲート評価により、 本格研究開発期間への移行判断	浦 光博 追手門学院大学 教授/ 広島大学 名誉教授

5. 2022年度公募プログラム（公募期間）

【詳細は公募要領をご確認下さい】

プログラム名称		公募期間			
		4月	5月	6月	7月
 <p>政策</p>		4/5	5/9 正午	6月	7/月上旬
 <p>RInCA</p>		4/5	6/8 正午		
SOLVE for SDGs	 <p>シナリオ・ソリューション</p>	4/5	6/8 正午		
	 <p>社会的孤立枠</p>	4/5	6/8 正午		

6. 重複応募について

【詳細は公募要領をご確認下さい】

- 1人の方が**研究代表者**として応募できる提案は、**1件のみ**です。
(※同一プログラム内で複数のフェーズや枠が設定されている場合も、いずれか1件のみとなります)
- 本年度公募の**4プログラムに重複**して応募できません。
- **現在**社会技術研究開発(RISTEX)の**研究代表者**は応募できません。
(※当該研究開発の実施期間が2022年度内に終了する場合を除く)。

7. 利益相反について①

【詳細は公募要領をご確認下さい】

① 選考に関わる者に係る利益相反マネジメント

提案者に関して、下記に示す**利害関係者は選考に加わりません**。

<利害関係者>

- a. 提案者と**親族関係**にある者。
- b. 提案者と大学、国立研究開発法人等の実施機関において**同一の学科、専攻等**又は**同一の企業**に所属している者。
- c. 提案者と**緊密な共同研究**を行う者。
- d. 提案者と**密接な師弟関係**あるいは**直接的な雇用関係**にある者。
- e. 提案者のプロジェクトと**直接的な競争関係**にある者。
- f. その他 JST が利害関係者と判断した者。

7. 利益相反について②

【詳細は公募要領をご確認下さい】

② 研究代表者に関わる者に係る利益相反マネジメント

研究代表者と「**研究代表者に関係する機関**」との間の利益相反について、当該関係の**必要性、合理性、妥当性等**を考慮して適切に判断します。

<研究代表者に関係する機関>

- a. 研究代表者等の**研究開発成果を基に設立**した機関。
(直接的には経営に関与せず技術顧問等の肩書きを有するのみの場合、株式を保有しているのみの場合を含む。)
- b. 研究代表者等が**役員** (CTO を含み、技術顧問を含まない。) **に就任**している機関。
- c. 研究代表者が**株式を保有**している機関。
- d. 研究代表者が**実施料収入**を得ている機関。

※**a及びb**については研究代表者のみではなく、研究代表者の**配偶者及び一親等内の親族**についても同様に取り扱います

8. e-Rad(府省共通研究開発管理システム)について

【詳細は公募要領をご確認下さい】

応募はe-Radを通じて行っていただきます。

募集締切間際は混雑するため、**時間的余裕を十分とって、応募を完了**してください。

募集締切時刻以降の**提案の取下げ処理はできません**。

募集締切までに**応募手続きが完了していない提案**については、**いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません**。

JSTは、募集締切時刻までに発生する提案書の不備についての一切の責任を負いません。
従って、募集締切時刻までに、**JST は提案者に事前確認の上での提案書の訂正**
もしくは**提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わない**ことにつき、予めご承知おきください。

8. e-Rad 申請時「新規必須項目」について

【詳細は公募要領をご確認下さい】

「研究インテグリティ」に係る情報入力が、**新規必須項目**として追加されました。

e-Rad外の研究費の状況および役職と所属機関への届け出状況

(1) e-Rad外の研究費

契約の種類	相手機関(相手機関の国名) 制度名 (研究期間)	研究課題名	予算額	エフォート	機密保持契 約締結有無	削除
選択してください▼	<input type="text"/> 選択してください (<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 ~ <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月)	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> %	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 兼業、外国の人材登用プログラムへの参加、あるいは雇用契約のない名誉教授等

兼業、外国の人材登用プログラムへの参加、あるいは雇用契約のない名誉教授等	相手機関の所在地	削除
<input type="text"/>	選択してください	<input type="checkbox"/>

(3) 誓約状況
寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき所属機関に適切に報告しているか。

報告している

「(1) e-Rad外の研究費」
「(2) 兼業、外国の人材登用プログラムへの参加、
あるいは雇用契約のない名誉教授等」

について入力し、
適切に所属機関に報告をしていることを確認。

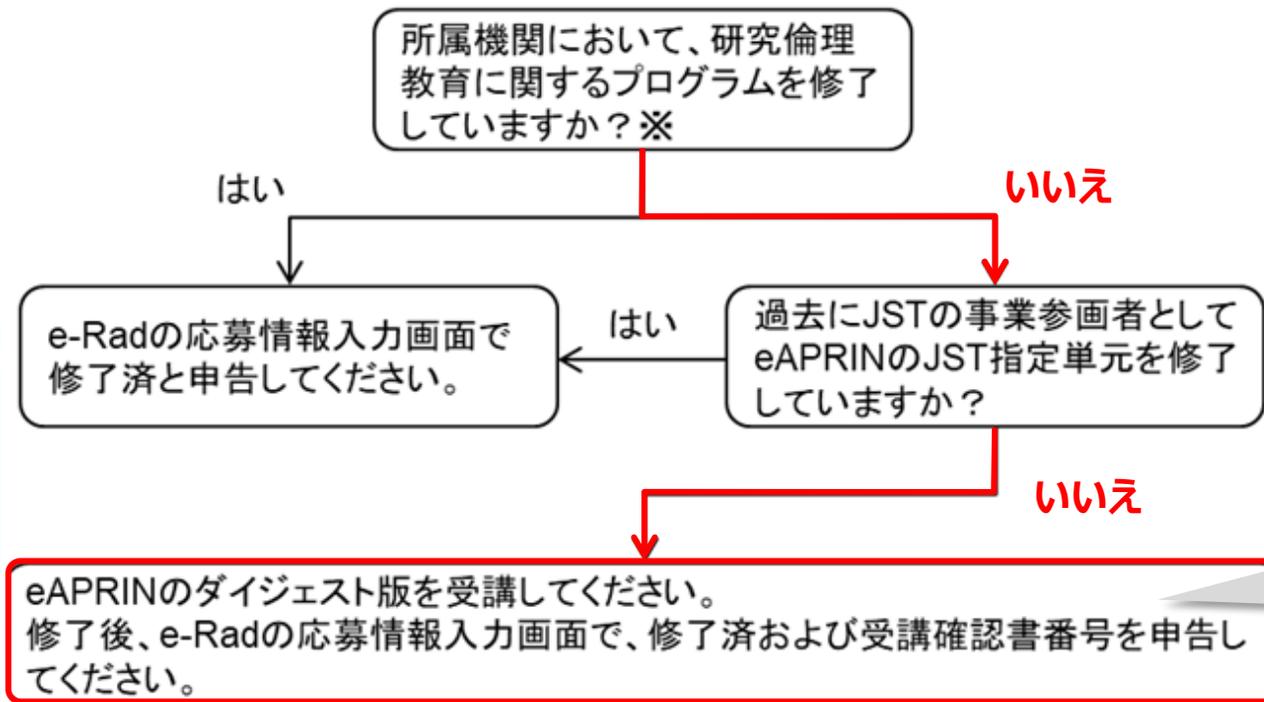
「(3) 誓約状況」のチェックボックスをチェック。

チェックマークが入っていないと応募ができません

9. 研究倫理教育に関するプログラムについて

【詳細は公募要領をご確認下さい】

研究代表者は、研究開発上の不正行為（捏造、改ざん、盗用および経理不正）を未然に防止するために**研究倫理教育に関するプログラムを修了**している事が応募要件となります。



<eAPRINのダイジェスト版>

- ・所要時間はおおむね **1 ~ 2 時間**程度
- ・**費用負担は不要**
- ・受講終了した上で、**e-Rad応募情報入力画面で、受講確認書番号を申請**

※研究代表者以外については、申請時の受講・修了は必須としません。

採択後は、原則として全ての研究開発実施者に「eAPRIN」の指定単元を受講・修了していただきます。

10. お問い合わせ窓口

お問い合わせは**電子メール**でお願いします。

※本資料はHP掲載予定です。

■ 社会技術研究開発の**応募全般**に関するお問い合わせ

国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室 募集担当

✉ boshu@jst.go.jp

■ **各プログラムへの応募**に関するお問い合わせ

政策プログラム

✉ boshu-stipolicy@jst.go.jp

ELSIプログラム

✉ boshu-elsi@jst.go.jp

SOLVE：シナリオ・ソリューション

✉ boshusolve@jst.go.jp

SOLVE：社会的孤立枠

✉ boshu-koritsu@jst.go.jp

■ **最新情報**はRISTEX 2022年度 提案募集Webサイトに掲載しますので、必ずご確認ください

🏠 https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/proposal_2022.html